

1月の子ども様子 うみ・そら組

うみ・そら組の1月のねらい

- ・気温の変化に注意しながら冬の健康に必要な習慣を身に付け、健康で快適にすごせるようにする。
- ・寒さに負けず、雪遊びや運動遊びを楽しむ。
- ・伝統行事や正月遊びを通して、言葉や文字、数への関心を高める。(5歳児)
- ・冬の自然事象や風習、正月の伝統行事に興味・関心を示す。(4歳児)



わくわく みつけた☆

自分たちで遊びを考え、新たなことを発見し、毎日、毎日、楽しんでいる子どもたちです!!
ブロックでこんな風にも作っています。



いっしょに☆

年上のうみ・そらくみさんが年下のお友達と遊んだり、世話をしてくれています。相手を思いやり、頼られたりする経験を通して、自信がついてきているようです。



へい!!へい!!今年は
びっくりさせるよ
どんどん
しんか!!ニョロしくね!!

うみ・そらくみ

お正月遊びは世代を超えて楽しみ、伝承する喜びは格別です!!うみ・そらではお正月遊びを取り入れ、日本の伝統文化に触れる機会を設けてきました。
お正月遊びや郵便ごっこなどを楽しむ中で、数量、文字などに関心を持ち、数を数えたり、文字の読み書きをしています。子どもたちが興味を持っているので親しみを感じられるような経験を積めるように援助しています。

みんなちがって、みんないい!!

心を動かす出来事に触れ、感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方に気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだり、表現する喜びを味わっています。
鬼のお面、升作りでは様々な材料を使って髪の毛、角などを付け、一人一人個性あふれるお面を作っていました!!福の神を見て、作る友達もいました。



☆体を動かすって楽しいね☆

晴れていようが、天気が荒れていようが「外で遊びたい」と言うほど元気なうみそらくみの子どもたちです!!晴れ間を見て、戸外に出て、冬ならではの雪遊びや戸外の開放感を味わっています。築山でのそり滑りは好きな遊びの一つになっています。新雪の上が一番乗りに行くことができ、寝転んでも楽しみました。雪玉作りも楽しめ、自分たちより大きい物を作ったり、お友達と互いに作った物をくっつけて、雪だるまを作ったりしても楽しんでいます。子どもたちはまだまだ雪が降ることを願っているところです。



なまはげごっこの発展

- ① 広告紙で剣を作って、手に乗せていたところから「竿灯みたいじゃない?」と声をかけると、「トレットペーパーの芯ない?」と作り始め、本物のようになりました。それを見ていたお友達が太鼓を叩き始め「どっこいしょ、どっこいしょ」と竿灯ごっこが始まりました!!
- ② なまはげごっこで身に付いた声の出し方、歩き方…節分の鬼の役にも役立っていました。本物に見えたようで小さいお友達はびっくりしていました。

